

「小学社会」と「中学社会」の単元系統表

Table with columns: 学年 (Grade), 地理的な内容 (Geographical Content), 歴史的な内容 (Historical Content), 公民的な内容 (Civic Content), 資料活用の系統 (System of Resource Use), 言語活動 (Language Activities). It details the curriculum flow from elementary school (小3-小6) to middle school (中1-中3).

【地理的分野】 小中の接続・関連

Table with columns: 学年 (Grade), 地理的な内容 (Geographical Content), 学習の中心概念 (Core Concepts of Learning), 取り上げている重要語句 (Key Terms). It provides a detailed breakdown of geographical concepts and their connections between elementary and middle school.

【歴史的分野】 小中の接続・関連

学年		歴史的な内容	学習の中心概念	取り上げている重要語句
前期	小3 (3・4上)	「3 変わるわたしたちのくらし」 (地域に残る昔の道具、生活の変化、文化財や年中行事)	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちのまちには、昔から伝わる文化財や年中行事がある。それらには、人々の願いがこめられており、まちの人たちによって大切に受けつがれている。 古くから伝わる道具には、昔の人々の生活の知恵や工夫がこめられている。昔から今への道具のうつり変わりとともに、人々の生活も変わってきている。 	祭り 文化財 郷土げいのう 年中行事 道具のうつり変わり 年表
	小4 (3・4下)	「6 昔から今へと続くまちづくり」 (地域の発展に尽くした先人のほたらき)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる地域には、よりよい暮らしを求める人々の願いにこたえて、地域の発展に尽くした先人がいた。その働きと苦心によって、地域は新田開発されて発展し、人々の生活は向上した。 	新田開発 人々の願い 工事の工夫
中期	小5	「1 日本の歴史」(古代～中世～近世～近代～現代) (各時代の特色、歴史上の人物 (42人) のほたらき)	<ul style="list-style-type: none"> 狩猟・採集を中心とした生活から農耕の生活へ人々の暮らしが変化し、社会の様子も変わっていった。各地に大きな勢力をもつ豪族が現れ、やがて大和朝廷によって国土が統一された。 大陸の政治や文化に学びながら、天皇を中心とした中央集権の国づくりが進められ、都に大仏がつくられたところに確立した。やがて、大陸の文化を消化・吸収する中で、独自の日本風の文化がおこった。 武士が力をもつようになり、源頼朝が鎌倉に幕府を開いて、武士による政治が始まった。 京都の室町に幕府が置かれたところに生み出された文化は、現在の生活文化につながる要素をもっており、今も多くの人々に親しまれている。 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の活躍によって、全国が統一されていった。 江戸幕府のもとで、武士を中心とする身分制度が確立し、武士の政治が安定した。 社会が安定する中で、人々が力をつけ都市が発達していった。そうした中から、歌舞伎や浮世絵などの新しい文化や、国学や蘭学などの新しい学問が生み出され、発展した。 明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を自らが政治や社会の新たなしくみづくりを進めた。 日清・日露戦争での勝利や不平等条約の改正、科学の発展への貢献などによって、日本の国力が充実し、国際社会における地位が向上していった。また、産業の発展にともなって、人々の暮らしや社会が変化した。 日本は、アジア・太平洋地域で世界の国々と戦争をし、長く続いた戦争によって、国民は大きな被害を受け、他国にも大きな損害をあたえた。 戦後、日本は平和で民主的な国づくりに取り組み、国際社会からの信頼を回復した。国民生活も豊かになり、国際社会において重要な役割を果たしてきた。 	米づくり 大和朝廷 古墳 渡来人 卑弥呼 天皇 仏教 貴族 日本風の文化 聖徳太子 小野妹子 中大兄皇子 中臣鎌足 聖武天皇 行基 鑑真 藤原道長 紫式部 清少納言 武士 鎌倉幕府 源頼朝 徳川幕府 徳川家康 室町幕府 書院造 水墨画 足利義満 足利義政 雪舟 全国統一 キリスト教 検地 刀狩 江戸幕府 織田信長 武田勝頼 ザビエル 豊臣秀吉 徳川家康 参勤交代 鎖国 身分 徳川家光 天幕四郎 シャクシャイン 歌舞伎 浮世絵 国学 蘭学 近松門左衛門 歌川国重 葛飾北斎 松尾芭蕉 杉田玄白 前野良沢 本居宣長 伊能忠敬 ペリー 開国 百姓一揆 打ちこわし 明治維新 富国強兵 文明開化 自由民権運動 大日本帝国憲法 大塚平八郎 坂本龍馬 徳川慶喜 勝海舟 明治天皇 西郷隆盛 大久保利通 木戸孝允 岩倉具視 福沢諭吉 板垣退助 大隈重信 伊藤博文 渋沢栄一 条約改正 日清戦争 日露戦争 民主主義 東郷平八郎 与謝野晶子 陸奥宗光 小村寿太郎 田中正造 新渡戸稲造 北里柴三郎 野口英世 志賀潔 平塚らいてう 満州 太平洋戦争 空襲 沖縄戦 原子爆弾の投下 日本国憲法 東京オリンピック 高度経済成長
	中1		<ul style="list-style-type: none"> 【1章 歴史の移り変わりを考えよう】 【2章 原始・古代の日本と世界】 【3章 中世の日本と世界】 【4章 近世の日本と世界】 	<p>【各章の学習に共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の終わりの「学習のまとめと表現」において、学習した内容を活用してその時代を大體し表現する活動を行い、各時代の特色をとらえる。その際、次の章のとびらと連動した資料の比較などを通して、時代の変化や移り変わりをとらえ、次の時 【第1章】 小学校での学習を踏まえ、「タイムトラベルサミット-2016」や「歴史にアプローチ」などの活動をもとに、我が国の歴史上の人物やできごとなどについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気づか 【第2章：原始・古代の日本と世界】 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。律令国家の確立に至るまでの過程、撰閣政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れ 【第3章：中世の日本と世界】 鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解する。農業など諸産業の発 【第4章：近世の日本と世界】 戦国の動乱、ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。江戸幕府の
後期	中2	<ul style="list-style-type: none"> 【5章 近代の幕明け】 【6章 近代の日本と世界】 	<ul style="list-style-type: none"> 【第4章：近世の日本と世界】 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれ 【第5章：近代の幕明け】 欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解す 【第6章】 富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議院政治が始まるとともに、我が 	<p>たことを理解する。社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。開国の影響による攘夷運動の高まりと倒幕への動き、さらに大政奉還と江戸幕府の滅亡に至った激動の時代の経過を、活躍した人物などを通して理解する。</p> <p>国の国際的地位が向上したことを理解する。我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。</p>
	中3	<ul style="list-style-type: none"> 【7章 二度の世界大戦と日本】 【8章 現代の日本と世界】 	<ul style="list-style-type: none"> 【第7章：二度の世界大戦と日本】 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。経済的世界的な混乱と社会問題の発生、昭和 【第8章：現代の日本と世界】 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考え、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。高度経済成長、国際社会とのかかわ 	<p>初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通して、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。</p> <p>り、冷戦の終結などを通して、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解する。</p>

【公民的分野】 小中の接続・関連

学年		公民的な内容	学習の中心概念	取り上げている重要語句
前期	小3 (3・4上)	「2 働く人とわたしたちのくらし」 (地域の生産や販売の仕事)	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちのまちには、ものを売る仕事で働く人たちがいる。働く人たちは、仕事をするうえで、さまざまな工夫や努力をしている。 	値段 サービス 品質 産地 原料 衛生 出荷 農事暦 土づくり
	小4 (3・4下)	<ul style="list-style-type: none"> 「4 安全なくらしとまちづくり」 (災害・事故の防止、関係諸機関や地域の人々の工夫や努力) 「5 健康なくらしとまちづくり」 (水・電気・ガスの確保や廃棄物処理などの対策や事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故や事件から地域を守るために、警察署を中心に、関係する諸機関や地域の人々が相互に協力、連携しながら地域の安全を守っている。 自分たちの生活から出たごみは、衛生的に処理されている。ごみ処理の対策や事業は、市と地域の人々との協力によって計画的に進められており、それによって、自分たちは快適で健康に暮らしていくことができる。 暮らしに必要な水道水を確保していくために、水道事業が広い地域の協力と人々の努力によって計画的に行われ、使った水は適切に処理されている。それによって、人々は健康で快適に暮らしていくことができる。 	<p>交通ルール 110番のしくみ 安全会議 こども110番の家 119番のしくみ 消防計画 消防設備 消防団 防災計画</p> <p>ごみの分別 清掃工場 リサイクル 資源ごみ 最終処分場 3R 浄水場 ダム 水源の森林 節水 下水処理施設 水の循環</p>
中期	小5	<ul style="list-style-type: none"> 「1 わたしたちのくらしと国土」 (世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、日本の位置と領土、国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活) 「2 食料生産を支える人々」 (農業・漁業、土地利用の特色、運輸のはたらきなど) 「3 工業生産を支える人々」 (日本の工業生産の特色や工業地域の分布、貿易や運輸のはたらき) 「5 国土の自然とともに生きる」 (公害、国土保全と森林資源、自然災害の防止など) 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなメディアを通じて、暮らしに必要な情報を速く正確に伝える工夫や努力が行われており、私たちはこれらの情報やメディアを上手に生かしていくことが大切である。 図書館や病院などで利用されている情報ネットワークは、多くの情報をすばやくやりとりするのに役立ち、私たちの暮らしを便利にしている。 災害の防止や水資源の確保、木材の供給など、森林には暮らしに欠かせないさまざまなはたらきがあり、国土や暮らしを守るためにも、森林の保全を続けていくことが必要である。 生活環境が汚れると、人々の暮らしや健康に大きな影響が出る。公害や環境破壊を発生させないために、住民や市などが協力して、環境をやさしい取り組みを続けていくことが大切である。 	<p>編集 ニュース マスメディア 情報ネットワーク 情報化 個人情報</p> <p>緑のダム 林業 人工林 自然災害 公共事業 防災 自助、共助、公助 減災 公害防止条例 国際協力 高度経済成長</p>
	小6	<ul style="list-style-type: none"> 「2 暮らしの中の政治」 (地方公共団体や国の政治のはたらきと日本国憲法の基本的な考え方など) 「3 世界の中の日本」 (日本とつながりの深い国の人々の生活の様子、国際的な交流・協力と日本の役割) 	<ul style="list-style-type: none"> 国民の暮らしは、地方公共団体や国の政治と深く結びついており、地方公共団体や国は、主権者である国民の暮らしの安定と向上のために重要なはたらきをしている。 国民の暮らしは、地方公共団体や国の政治と深く結びついており、地方公共団体や国は、災害から国民の命や暮らしを守るために重要なはたらきをしている。 	<p>税金 選挙 国会 内閣 三権分立 裁判所 日本国憲法 国民主義 基本的な人権の尊重 平和主義</p>
後期	中2	<ul style="list-style-type: none"> 「1章 私たちの暮らしと現代社会」 「2章 人間を尊重する日本国憲法」 「3章 私たちの暮らしと民主政治」 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットが広がり、多くの情報があふれている今の暮らしの中では、私たちも責任をもってルールを守りながら、情報を受け取ったり発信したりすることが大切である。 日本の国土には多くの自然災害が発生し、それらの被害を少しでも減らすために、国や都道府県、地域の住民などが協力し合い、さまざまな対策を進めている。私たち一人一人が、日頃から防災の意識をもって行動することも大切である。 憲法は、国の政治の基本的なあり方を定めており、民主的で平和な社会を旨とする日本の政治は、日本国憲法の考え方に基いている。 	<p>本来社会的存在であることに着目し、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考え、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付く。</p>
	中3	<ul style="list-style-type: none"> 「4章 私たちの暮らしと経済」 「5章 安心して暮らせる社会」 「6章 国際社会に生きる私たち」 「終章 私たちにできること」 	<ul style="list-style-type: none"> 【第1章：私たちの暮らしと現代社会】 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解するとともに、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付く。また、科学、芸術、宗教などを中心とした現代社会における文化の意義や影響、暮らしとの関わりを理解するとともに、我が国の伝統と文化に関心をもち、文化の継承と創造の意義に気付く。さらに、人間は 【第2章：人間を尊重する日本国憲法】 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解するとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解し、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行 【第3章：私たちの暮らしと民主政治】 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解し、議会制民主主義の意義について考えるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深める。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解するとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加 【第4章：私たちの暮らしと経済】 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解するとともに、価格の動きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解する。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会にお 【第5章：安心して暮らせる社会】 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連付けて考える。また、国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の 【第6章：国際社会に生きる私たち】 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識し、国際社会における我が国の役割について考える。その際、日本国憲法の平和主義に 【終章：私たちにできること】 持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、自分の考えをまとめる。 	<p>われていることの意義について考える。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。</p> <p>との関連について考える。その際、選挙の意義について考える。また、地方自治の基本的な考え方や、地方公共団体の政治の仕組みについて理解するとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。</p> <p>ける企業の役割と責任について考える。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考える。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解する。</p> <p>整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の動きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考える。</p> <p>ついて理解を深め、我が国の安全と防衛及び国際貢献について考えるとともに、核兵器などの脅威に着目し、戦争を防止し、世界平和を確立するための熟慮と協力の態度を育てる。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。</p>